

つくし園だより



第180号
2026年
1月1日発行

発行責任者
児童養護施設
黒松内つくし園
施設長 藤田 剛
〒048-0101
黒松内町字
黒松内 562-1
■TEL
0136-72-3033
■FAX
0136-72-4066

新年のご挨拶



新年あけましておめでとうござい
ます。保護者様・関係各位の皆様には、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。日頃より当施設へのご理解、ご支援を賜り心より感謝申し上げます。

昨年末に当施設では、職員を含めた児童数名がインフルエンザA型に感染してしまいましたが、幸いなことに重症化することなく12月24日のクリスマス会には町内の小・中学校の先生方を招待して実施する事が出来ました。このような状況ではありませんでしたが、お陰様で60名の児童と36名の職員が無事に新年を迎える事が出来ました。

本年は午年です。そして、60年振りの丙午です。丙午年生まれの女性は気性が激しい等、あまり良いイメージがない迷信が伝えられていますが、何がその年に当たるのか知らなかったため、児童にも話す機会があると思います。皆さんも知っている『干支』とは古代中国で誕生した『陰陽五行説』という考え方を基に作られた『干支十二支』からきており、日本では『干支』と『十二支』を同じものとして受け取られる事が多いのですが、各々違う意味があり『干支』とは『十干』『十二支』を組み合わせたものだそうです。『十干』とは、古代中国で暦や時間・方位等を表すことに用いられたもので10日間のまとまりで『一句』と呼ばれ『上旬・中旬・下旬』で1

カ月となります。

このように10を単位に『戌・丁・丙・乙・甲・癸・壬・辛・庚・己』と表されます。『十二支』は皆さんにも馴染み深い『子・丑・寅・卯・辰・巳・午・未・申・酉・戌・亥』と12の動物で表され『十干』と『十二支』を組み合わせたものを『六十干支』といい60通りの組み合わせがある為、丙午年も60年に1回となっています。

さて、午年の話に戻りますが、午は十二支の7番目に位置し、古来から「俊敏さ・勢い・成長・活発」を象徴する存在とされてきました。馬は昔から移動手段や戦の要として重要な役割を担ってきた動物です。その為干支における『午』は勢いが強くスピード感がある、行動力・決断力が高まる、成長を後押しする、社会が活気づき易い等の意味を持つといわれています。また、『午』の文字は太陽が真上に昇った「正午」にも由来しており、陽気（エネルギー）が最大限に高まる象徴とされ、物事がピークに達しやすい年ともいわれ、良くも悪くも動きが激しいのが午年の特徴で「変化」「行動」「挑戦」がキーワードとなるそうです。

今年は、活発的に行動するのに向いている年である事から子ども達にも色々な事に挑戦して欲しいと思います。子ども達は何事にも挑戦していけるように職員一同で取り組み、子ども達を支えていきます。また、子ども達の笑顔が絶えない施設運営に心掛けてまいりますのでご家族様や関係者皆様のご理解とご支援を心からお願い申し上げます。

今年一年が皆様にとりまして縁起の良い一年になりますよう心からご祈念申し上げ年頭の挨拶と致します。

クリスマスプレゼント

12月15日(月)芝・高橋・上村法律事務所の上村慎太郎さん他5名の皆様が来園され、子ども達へクリスマスプレゼントとして「スイッチ2」3台と複数のゲームソフトを寄贈くださいました。



スイッチはつくし園でも大人気のゲーム機で、子ども達はこの最新機種のプレゼントに目を輝かせて受け取りました。子ども達を代表して高校生が「ルールを守り、大切に使います。ありがとうございます」と感謝の言葉を述べました。冬休みに入り、子ども達は皆でプレイを楽しみ、笑顔溢れる時間を過ごしています。この他にも、今年もたくさんの方々からDVDやお菓子、飲み物など多数のクリスマスプレゼントを頂きました。贈ってくださいました皆様、心温まるご支援に心より感謝申し上げます。

たくさんのお菓子をプレゼント

12月24日(水)株式会社上田商会(本社 登別市)にお勤めの卒園生・滝吉正人さん(平成17年3月卒園)と、同社代表取締役社長・上田朗大様のご依頼を受けたサンタさんが、児童一人ひとりにケーキと大きな袋いっぱいのお菓子を届けてくださいました。

上田商会様は、かつてわかさいも本舗にお勤めだった卒園生・館洞勝雄さん(昭和40年3月卒園)が平成27年まで手作りケーキを贈ってくださいていた後を引き継ぎ、令和元年からケーキを寄贈くださっています。

幼児と小学生が笑顔一杯に、サンタさんからお菓子を受け取りました。代表の高校生が「たくさんのお菓子やお菓子をありがとうございます」と感謝の言葉を述べました。



クリスマス会

12月24日(水)当園の体育館にてクリスマス会を開催しました。

クリスマス会はつくし園の一大イベントです。司会や照明係などの役割を担う実行委員や当日の有志発表者を子ども達から募集し、準備段階から子ども達が主体的に進めてきました。手作りの招待状をお届けし、会場設営も職員と中高生が中心となり行いました。

当日は、理事長はじめ、日頃お世話になっている黒小・白小・中学校、黒松内保育園の先生方50名以上の皆様にご参加いただきました。



開会セレモニーは、年長児によるかわいらしい歓迎の言葉から始まりました。

続くキャンドルサービスは、白衣に身を包んだ6名の子ども達が各テーブルを回り、ロウソクに火を灯しました。『荒野の果てに』を歌い、澄んだ歌声が会場に響き渡りました。

祝会では、オードブル・ちらし寿司などのご馳走を囲みながら、有志の子ども達による「ダンス」発表、実行委員企画の「お絵描きゲーム」、職員企画の「マリオカート大会」などで盛り上がりしました。「ビンゴ大会」では商品券やお菓子の賞品が用意され、会場から歓声が沸きました。



子ども達は来賓の皆様と一緒に楽しい聖夜を過ごすことができました。お忙しい中、たくさんご参加いただきありがとうございました。

お餅つき

12月28日(日)当園の玄関ホールにて毎年恒例の餅つきを行いました。



幼児から小中学生まで約20名の子どもが順番に餅つきを体験し、初めて挑戦する子も重い杵を一生懸命振り下ろしていました。今年受験を控える中学3年生は「受験に粘り強く頑張るぞ」という願いを込めて餅つきをしました。つき上がったお餅は小さく丸め、昼食の「餅バイキング」として美味しくいただきました。片付けも床に一列に並び雑巾がけしながら競走するなど笑顔溢れる時間となりました。

大掃除・繭玉飾

12月26日から28日にかけて子ども達と職員は食堂・

玄関等の大掃除を行いました。また、28日は繭玉飾りを作り玄関と食堂に飾り、お正月を迎える準備をしました。



～ご厚志に心より感謝申し上げます～ R7.11.29～12.31

<ご寄贈> 全国シャンメリー協同組合、トドック、中村律子、一般社団法人中央ライフサポートセンター、ほっともっと、村形勇樹雄、上村真太郎他5名、イオン北海道労働組合、田山淳次、北海道コカ・コーラリテール、日本鏡餅組合、広尾町、北海道ぎょれん販売企画部、株式会社ホクビー、公益財団法人毎日新聞社東京社会事業団、高野秀樹、金子呉服店、小樽BBS会、海老唯奈・遠山洋魅、北海道信用金庫黒松内支店、(株)上田商会、久保内優菜、黒松内小学校、黒松内中学校、白井川小学校、白井川中学校、黒松内保育園

<ご寄付> 遠藤健次、櫻井智恵、北海道共同募金会、北海道新聞社会福祉振興基金、(有)小間旅館

常勤役職員からのご厚志については、お名前を控えさせていただきます。

～編集後記～

昨年は大変お世話になりました。新年も変わらぬご愛顧をよろしくお願いいたします。

さて、12月上旬の雪の降りしき中、幼児達(+職員2名)が外で雪合戦をしていました。どちらも真剣な表情で熱い勝負を繰り広げていました。勝負の行方は…

小さな雪だるまに聞いてみようかな? D.A



～1月の行事予定～

- ◆ 1日 元旦、初詣
- ◆ 2日 書初め
- ◆ 6日 たんぽぽ室調理実習
- ◆ 7日 フットサル大会(子ども会レク)、女子棟中高生外出
- ◆ 8日 西予市交流体験学習(中2 5名/～11日)
- ◆ 10日 男子棟小学生外出
- ◆ 11日 すぎな外出
- ◆ 12日 成人の日、女子棟小学生外出
- ◆ 13日 男子棟中高生外出、すみれ室調理実習
- ◆ 15日 保健衛生の日
- ◆ 16日 黒小・中始業式、寿高・ニセコ高全校集会
- ◆ 17日 誕生会、スキーツアー(ニセコ)
- ◆ 18日 今金帰寮日
- ◆ 19日 白小・中・今金・こども園始業式、蘭高全校集会
今金二計測
- ◆ 20日 分校始業式、こども園運動教室、黒中3年学年末テスト
- ◆ 21日 寿高1年スキー授業
- ◆ 22日 白小書初め会、黒小5時間授業
- ◆ 23日 分校身体計測、白小スキー学習(東山)、黒中英語検定
黒小5年スキー遠足
- ◆ 24日 白小ふれあいかるた会、白井川PTA新年会
- ◆ 25日 ふじ室調理実習
- ◆ 26日 白小振休
- ◆ 27日 寿高1年スキー授業、こども園森のようちえん
白中新1年入学説明会
- ◆ 28日 こども園森のようちえん予備日、黒小学力調査
- ◆ 30日 高等支援学校入学者選考検査、こども園誕生会
白中スキー学習(東山)、黒中新入学生体験入学
黒小6年スキー遠足、白中ニセコスキー